

# 奈良県の労働市場の動き（平成29年7月分）

- 有効求人倍率（季節調整値）は、1.30倍で、前月より0.03ポイント上昇し平成の最高値を更新しました。  
前年同月比では、0.14ポイント上回りました。
- 全国は1.52倍で、奈良県は0.22ポイント下回りました。
- 近畿ブロックは1.47倍で、奈良県は0.17ポイント下回りました。
- 有効求人数（季節調整値）は、24,272人、前年同月比で7.3%の増加となりました。  
前年同月比では、27か月連続の増加となりました。
- 有効求職者数（季節調整値）は、18,614人、前年同月比で4.5%の減少となりました。  
前年同月比では、73か月連続で減少となりました。
- 新規求人倍率（季節調整値）は1.98倍でした。  
前月より0.15ポイント上回りました。
- 新規求人数（季節調整値）は、8,581人、前年同月比で3.8%の増加となりました。  
前年同月比で、4か月連続の増加となりました。

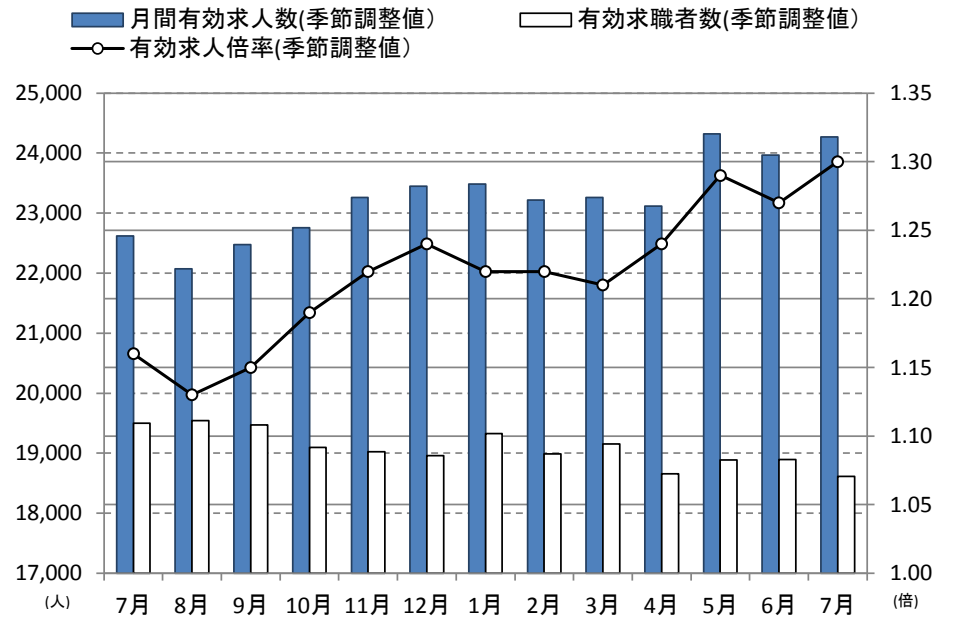
主要産業の新規求人状況を前年同月比で見ると、「建設業」、「製造業」、「運輸業、郵便業」、「医療福祉」、「サービス業(他に分類されないもの)」、「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」の全てにおいて増加しました。

建設業(前年同月比8.1%増)、  
製造業(同24.1%増)、  
運輸業、郵便業(同39.5%増)、  
卸売業、小売業(同3.0%増)、  
宿泊業、飲食サービス業(同14.3%増)、  
医療、福祉(同0.4%増)、  
サービス業(他に分類されないもの)(同4.6%増)

- 新規求人数（原数値）のうちパート求人は4,269人でした。  
パート求人の比率は49.4%でした。
- 新規求職者（季節調整値）は、4,334人で、前年同月比で10.6%の減少となりました。  
前月に比べて3.3%減少しました。
- 雇用保険受給資格決定件数は1,025件でした。  
前年同月比で11.8%の減少となりました。
- 雇用保険受給者実人員は4,199人でした。  
前年同月比で7.5%の減少となりました。

(注) 求人倍率(季節調整値)については、季節調整替えが行われ、平成28年12月以前の数値は改訂されております。季節調整法センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)により改訂。

月間有効求人・有効求職・有効求人倍率の動き(パートを含む)



今月の年齢階層別有効求人・有効求職状況(常用・パートを含む)

